木更津市立図書館報

みんなの図書館

第81号

発行日　令和８年６月３０日㈫（年４回発行）

発行者　木更津市立図書館
木更津市文京２－６－５１
ＴＥＬ ０４３８－２２－３１９０
ＦＡＸ ０４３８－２２－７５０９

～木更津市立図書館をふり返る～
「みんなの図書館」でみる図書館 編

木更津市立図書館では、木更津市立図書館の広報誌「みんなの図書館」を年に４回発行しています。平成１４（２００２）年１０月に創刊された「みんなの図書館」も今号で８１号。これまで、皆さんに図書館に親しみを持ってもらえるよう、図書館のことや本のこと、郷土のことなど様々な内容を紹介してきました。今回は、創刊号の内容から、当時の図書館のことを振り返ってみたいと思います。



創刊号　平成１４年１０月２日（水）発行
内容　・１１月３日（文化の日）開館
・木更津市制施行６０周年記念展「木更津市６０年の歩み」関係
・夏休み企画・ボランティア講座の開催報告
・気になる一冊・図書館員おすすめの子どもの本
・職場体験の受け入れ報告
・公民館図書室からのお知らせ
・ベストリーダー（よく読まれた本）

この当時、祝日は図書館の休館日でしたが、木更津市が市制施行６０年を迎えたことから、市制施行日にあたる１１月３日（文化の日）に特別開館をしました。１１月１日～４日にかけて、記念の展示会「木更津市６０年の歩み」を２階の会議室で行ったほか、３日には「雑誌リサイクルフェア」を２階ロビーにて行いました。当館での雑誌のリサイクルフェアはこの時をはじまりとして、現在も、除籍した図書やお持ちいただいた図書に範囲を広げて開催しています。

また、この年、少し時期を戻って８月には、小学生と親子を対象とした、夏休み企画「図書館を楽しもうよ！」が初めて開催されました。当時行った企画は、「こわ～いおはなし会」「ほねのはなし」「木更津市って何歳？」の３つで、全体で９３名と、たくさんの方に参加していただきました。こわ～いおはなし会は、今でも続いている人気のイベントですね。今年も開催しますのでお楽しみに！詳しくは、３ページの行事予定や、各イベントの案内ポスター・ホームページをご覧ください。

さて、昔はベストリーダーの掲載をしていましたが、この頃よく読まれていた本はどんな本でしょうか。

（一般書・２００２年度上半期）
１．模倣犯　上・下　宮部みゆき著　小学館
２．理由　宮部みゆき著　ＰＨＰ研究所
３．あやし　宮部みゆき著　角川書店

（児童書・２００２年度上半期）
１．ぐりとぐら　なかがわえりこ絵　福音館書店
２．１１ぴきのねこ　馬場のぼる絵　こぐま社
３．ハリー・ポッターと秘密の部屋
Ｊ.Ｋ.ローリング作　静山社

どれも名著・名作なので既に読まれた方も多いかもしれませんが、これを機に再読してみてはいかがでしょうか。

本を大切に……

図書館の本や資料は、皆さんが利用する大切な財産です。雨の多い季節、皆さん誰もが気持ちよく利用できるよう、本の取り扱いについて今一度見直してみましょう！

水濡れ

雨の中を持ち歩いたり、うっかり濡れた手で触ってしまったり。かばんに一緒に入れていたボトルの水滴がついてしまった、なんてことも。
濡れた本は、よれよれと波打った状態で固まってしまい、処置をしても完全には元に戻りません。



POINT

・持ち運びの際はビニール袋に入れるなど、保護をしてください。
・湿気の多い場所や、水場に置くことは、できるだけ避けてください。
・応急処置によって、被害が少なく済む場合があります。万一濡れてしまった場合は、速やかに図書館職員にお渡しください。

汚れ・におい

何かを食べながら・飲みながらの読書は楽しいものですが、本に飲み物をこぼしたり、油のついた手で触ってしまったりと、本が汚れてしまう可能性があります。
また、たばこの臭いや強い香りなどは、紙が吸収して本に付きやすく、なかなか取れません。



POINT

・飲み物は、こぼれないようフタつきのボトルを利用する、本に触れる際は手をウエットティッシュやティッシュで拭くなど、清潔・安全な状態を心掛けてください。
・喫煙しながらの読書や、強い香りがする場所に本を置いておくのは避けてください。

書き込み・ふせんなど

本を読むとき、気になった箇所に線を引いたり、書き込んだりすることがあるかもしれません。
自分の本であれば自由ですが、図書館の本はたくさんの方が利用するものなので、おやめください。
また、目印にと「ふせん」を貼るのも実は本には良くないことで、残った糊でくっついてしまったり、年を経て変色してしまったりする場合があります。

POINT

・目印には、しおりを使ってみてください。不要な紙の切れ端などが使えます。図書館にも置いていますので、お気軽にご利用ください。

その他、破れや噛み跡、切り取りなどで利用できなくなる場合もあります。これら汚破損が酷いと、本は処分せざるをえません。図書館には、新たな入手が難しい本もあります。大切に扱ってください。

ただし、大切に扱っていただいた本も、たくさん読まれれば壊れやすくなります。もしページが取れたり、破れたりしたところを見つけたら、職員が修理しますので、お知らせください。



ご寄贈ありがとうございます！

木更津東ロータリークラブ様から、青少年健全育成のための図書館資料の充実を目的として、今年も図書館へ図書を寄贈いただきました。昭和４９年から始まって今回で５２回目となり、その間の累計寄贈冊数は５，１１４冊（５１１万３千円）に達しています。

いつも、温かいお心遣いをありがとうございます。

夏の図書館行事予定

それぞれ詳しくは、今後図書館ホームページや、館内チラシなどでお知らせしますので、そちらをご確認ください。



○ボランティア講座　音訳教室（要事前申込・先着）

音訳ボランティア団体「音訳の会『しおさい』」と一緒に、音訳の基本を学んでみませんか。

7/１９(日)　午前１０時～午後４時（中学生以上対象）

○夏休み企画　図書館を楽しもうよ！

・こわ～いおはなし会

暑い夏に、ちょっと涼しくなるような、こわ～いお話をお楽しみに。

7/２８(火)　①午後３時～午後３時３０分　②午後３時３５分～午後４時５分（小学生対象）

・１日図書館員体験（要事前申込・抽選の場合あり）

図書館職員はどんな仕事をしているのかな？いろいろ体験してみよう！

①7/３０(木)　②8/6(木)　各日　午前１０時～午後３時（小学５・６年生対象）

・夏休みは図書館で過ごそう！

本を読んだり、宿題をしたり、工作で遊んだり…自由に過ごせる場所を提供します。

小学生　8/5(水)、１９(水)、２６(水)

中学生　8/7(金)、２１(金)

午前の部：午前９時３０分～正午　午後の部：午後１時３０分～午後４時



ある日の一コマ

図書館は、出張おはなし会を行います。先日は、請西にある子育て支援センターで、赤ちゃんのおはなし会を行いました。

その日の参加は、９組の親子。図書館の車が到着すると、テキパキとおもちゃを片付け、半円になって座って待ち構えて、意欲満々。子どもさんもお母さんもニコニコしながら、わらべうたを唄ったり、絵本を楽しんだり、あっという間の３０分でした。

さて、おはなし会が終わって、帰り支度をしていた時のこと。ふと振り返ると、先程参加してくれていた２歳くらいの女の子が、もじもじしながら立っています。後ろには、笑顔のお母さん。その笑顔に後押しされるようにして、女の子の口元から、小さな声がぽろりとこぼれました。「…アイガトゴジャイマシタ…」

こんな時、私は天にも昇る気持ちになります。コチラコソ、アイガトゴジャイマシタ！

わたしの思い出の１冊　～記憶の中に深く刻まれている１冊をご紹介します～

『火星の人　上・下』アンディ・ウィアー著　小野田和子訳　ﾌﾝ933/ｳｲ/1・2

図書館員　まめ

直木賞作家、伊与原新さんの最新作は、今年の４月に出版されたばかりの『コズミックガール』である。この作品には早々に予約が入り、現在でも１０名以上の方々が、予約待ちに名を連ねている。実は、これには、実在の定時制高校科学部をモデルにした『宙わたる教室』という前作があり、ＮＨＫでドラマ化もされて大いに話題になった。『コズミックガール』が、出版されて間もないにもかかわらず、多くの方々に読まれているのも、きっと前作の続編を待ちわびるファンが多かったからであろう。

『宙わたる教室』の科学部のメンバーは４人。その中の一人が、中学校から不登校になり、高校は定時制に通う名取佳純だ。定時制でも最初は保健室登校だった佳純だが、科学部に入り、仲間たちと火星のクレーター研究に熱中するにつれて、次第に自分を取り戻していく。そして、佳純が科学部に入るきっかけを作ったのが、このアンディ・ウィアーの『火星の人』である。

保健室登校をしていた佳純が、『火星の人』の真似をして、ノートにその日の記録をつける。「ロングエントリー：ソル１５　ハブで読書…」。「ソル」は、火星における一日（約２４時間４０分）のこと、「ハブ」は、火星での居住施設のこと。ＳＦ小説など、ほとんど読んだことのない私には、これだけでも「？」であったが、佳純がそれほど夢中になった小説ということもあって、どうしても読みたくなった。そして、実際に読んでみると、ページをめくる手が止まらず、あっという間に読了してしまった。

アメリカの作家、ウィアーのこの小説は、火星に一人取り残されたＮＡＳＡの宇宙飛行士、マークの奇跡の生還を描いた物語である。マークは事故によって火星に取り残され、他の乗組員は、マークが火星で死んだものとして、断腸の思いで地球へ帰還しようとしている。そんな中、マークが、自身のあらゆる知恵を総動員して、何とか火星を脱出しようとするさまが、日記形式で描かれていく。まさに「ソル６」に始まり「ソル５４９」に終わる、山あり谷ありのサバイバル劇。作家ウィアーのＮＡＳＡや宇宙に関する膨大な知識に導かれ、ＳＦ好きでなくとも、物語にどんどん引き込まれていく。おまけに、マークの不屈の精神とアメリカンジョークが、何度も笑わせてくれること間違いなしの傑作である。ああ、ぜひともこれを読んで、声を上げて笑ってほしい。いや、一度ページをめくれば、そうなるに違いない。

佳純は、続編の『コズミックガール』には、大学生として再登場する。当然、他の科学部メンバー達も再登場するが、続編の主人公は彼らではない。前作から６年後という設定の続編の主人公は、その名の通り、コズミックガール。彼女と、新たな科学部のメンバー達にも、ぜひ会っていただきたい。

▸ 図書館 NEWS ◂



大会議室の開放について

令和８年６月より、会議等の使用の有無にかかわらず、原則として平日１７時～１９時は、会議室を開放することといたしましたので、ぜひご利用ください。開放できない場合は、ホームページ等でお知らせしますので、そちらをご確認ください。

会議室開放予定カレンダーは ▶
こちらのページから

編集後記

台風に地震にと、災害が相次いでいますね……。再度、皆で避難や防災について確認しておきましょう！郷土資料室では、木更津市のハザードマップを閲覧できます。（N）

窓ガラスを伝うひとしずくの雨、アジサイの葉に残るひとしずくの雨。降り続けば恐ろしくもあるけれど、ひとしずくの雨は、かくも美しいのですね。（まめ）